

2022 年度支部活動【北陸支部】開催報告 日本語教師としてのこれからのキャリアを考えよう

主催：公益社団法人日本語教育学会
開催日：2023年2月19日（日）13:00-15:30
会場：オンライン（Zoom）
参加人数：37名（会員27名・一般10名）

北陸支部は2023年2月19日（日）にオンラインで「日本語教師としてのこれからのキャリアを考えよう」というタイトルで支部活動を実施しました。テーマ性からか海外を含む北陸以外の地域からのご参加が多く、大変盛況な会となりました。

本活動は、参加者の方々に、ご自身の日本語教師としてのキャリアを振り返り、今後のキャリアを考える機会にさせていただくことを目的として、講演、日本語教師のキャリア形成の事例紹介、ワークショップの三部構成で行いました。

講演は、福井大学キャリアセンターの河崎千鶴氏に「キャリアの指向性と自分らしい生き方について」という題目で行なっていただきました。講演では、キャリアデザインとは何か、キャリアを考える上で自分自身に備わっているものの棚卸しをすることの必要性、自分が持つ価値観や目指す方向性を意識することの重要性などについてお話しいただきました。

日本語教師のキャリア形成の事例紹介においては、1）大学で専任教員として日本語を教える（報告者：佐藤綾/福井大学）、2）複数の機関で非常勤講師として日本語を教える（報告者：片野洋平氏/長岡技術科学大学）、3）他の職業につきながら日本語を教える（報告者：松尾憲暁氏/岐阜大学）、という3つのパターンの事例紹介がなされました。その中では、それぞれの日本語教師がどのような出来事を通じてキャリアを重ねていったのか、キャリアの選択をする際にどのような価値観や要因が影響していたのか、何を大切にしているのかという点に焦点を当てて紹介がなされました。

ワークショップでは、参加者に、これまで自分がどのようなキャリアを歩んできたかを自分史として描いていただいた上で、そこで生じたキャリアの転機とその際の選択と理由を考えていただきました。その後、グループになって、各々の自分史を語り合う中で、自身の価値観を見つけていただく試みをしました。普段、自分のキャリアについて語り合うという機会がなかなかないためか、25分という時間内では話しきれない方が多かったようです。

終了後のアンケートでは、今回の参加動機を「自分のキャリア形成を考えたいから」とする方が7割を占め、また、自由記述では数多くのコメントをいただいたことから、それぞれの方がご自身のキャリア形成に真摯に向き合い、それ故に悩みを抱えている様子が伺えました。そのようなことから、今回の企画には一定の意味があったと考えますが、一方で、最後のワークショップの時間が足りず、話し合いが十分にできなかったというご意見が多かったことは反省すべき点と考えます。今後はいただいたご意見を参考に、より良い内容になるように考えていければと思います。

最後に、今回の支部活動にご参加くださった皆様、実施にご協力くださった方々に心より感謝申し上げます。

（報告者：支部活動運営協力員 佐藤 綾）